



校長室だより 2月

備えあれば憂いなし

2月13日(土)午後11時8分、郡山地区は震度6弱を観測しました。

校舎は、断水やエレベーターの停止など、地震による影響がありましたが、翌日には解消され、月曜日からは、通常どおり授業を行うことができました。被害状況としては、中央スロープや2階昇降口の梁に亀裂やひびが入り一部立ち入り禁止区域が発生したり、体育館や寄宿舍の一部で雨漏りが発生したりなどがありましたが、子どもたちが学ぶ教室や特別教室は、2学期に設置した「突っ張り棒」により被害を最小限にとどめることができました。



停電などの非常時に備え、発電機が体育館入り口に設置されています。日ごろの点検も定期的に行っています。



転倒防止の備えとして「突っ張り棒」を設置しています。また、コロナ感染防止の備えも整えています。



寄宿舍には、お雛様の掲示が張り出されました。音楽では、「春の海」のお琴の学習が行われています。季節は、少しずつ春に向かっていきます。子どもたちが、笑顔で！楽しく！学習が進められるよう、安心・安全な環境のための備えを心がけていきたいと思えます。

令和3年2月 ～ 明るく 正しく たくましく ～

福島県立郡山支援学校 校長 齊藤 恵子

